

令和2年度

決算の概要と決算に対する討論(要旨)

令和2年度
各会計
歳入歳出
決算

会計名		予算現額	歳入	歳出
			決算額	決算額
一般会計		2,987億3,248万4,456円	2,965億6,470万4,396円	2,869億7,902万2,522円
特別会計	国民健康保険事業	557億1,700万円	551億9,664万83円	538億3,368万4,136円
	介護保険事業	442億1,300万円	442億4,609万7,575円	425億6,315万288円
	後期高齢者医療事業	124億7,700万円	125億421万3,814円	123億5,349万5,065円
	東武東上線連続立体化事業	1億790万7,000円	1億608万7,983円	8,395万4,998円

共産党 反対 一般会計及び4特別会計

コロナ禍で浮き彫りとなった問題を踏まえ 区民の命と暮らしを守る施策の実施を

- 財政調整基金を90億円取り崩したものの、全額積み戻しだけでなく35億円をさらに積み立て、目標額を維持する規模となった**財政運営**は問題。
- コロナ感染拡大の実態に対し、基金から財源を取り崩して国や都の支援策に**区独自の乗せ支援**をすべき。
- 国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療事業については**高すぎる保険料を引き下げる独自の施策**が必要。徴収強化ではなく、区民生活の実態に寄り添った姿勢への転換を。
- 多くの事業が縮小・中止となる中、**再開発事業**だけは進められた。住民本位のまちづくりとは完全に逆行した姿勢は許されない。

自民党 賛成 一般会計及び4特別会計

コロナ禍の政策全体のあり方や方向性を確認し 区民に一層寄り添った区政の実現を

- 2年度決算から得られた知見や経験をもとに、新型コロナウイルスの影響を加味しつつ、歳計剰余金を抑えられるようにさらなる努力を。
- 長期にわたり、**小・中学校の改修・改築**が進むことになるが、義務教育施設整備基金の活用にも限界があることから、計画的かつ効果的な施設建設を求める。
- 新中央図書館**は、中央図書館の機能と地域図書館としての役割を果たすとともに、区民の憩いの場など様々な機能を果たすべき。
- 各地区におけるまちづくり**は防災機能を高めることを基調としたものであり、区民に一層寄り添った、丁寧かつ的確な説明を行うことを期待する。

無所属の会 賛成 一般会計、介護保険事業特別会計 反対 国民健康保険事業、後期高齢者医療事業、東武東上線連続立体化事業特別会計

在宅で暮らす高齢者を支える仕組みを整え 福祉がまちを活性化しよう方向転換を

- 新型コロナウイルス感染拡大の対応として、対応病床の整備・拡充、病院間連携による転院支援など**医療体制確保の取組み**を評価する。
- 小規模事業者等緊急家賃助成**は周知や受付がわかりやすく評価するが、特定非営利活動法人などが対象外であったことが課題。
- 介護保険事業**では、訪問介護事業者の安定的な運営とヘルパーが安心して働ける環境づくりに向けた支援について、国や都に働きかけを。
- 国民健康保険事業**は、高すぎる保険料に対し、抜本的な改革が必要。
- 後期高齢者医療事業**では、コロナ禍による高齢者の受診控えの反動や長期間にわたるステイホームによる筋力の低下、慢性疾患の増加などに対する積極的な取組みが必要。

公明党 賛成 一般会計及び4特別会計

民間活力や区民参画の共生を推進し 区民サービスの質の向上を

- 板橋版ネウボラに**出産ドゥーラ事業**を加え、母子に寄り添う支援を。
- マイナンバーカード**の交付率向上に向け、商品券配付やポイント付与などの普及策を検討すべき。
- コロナ禍により**区内産業は大きな影響**を受けている。区内事業者で完結する受注機会の拡大、利子補給、返済期間の猶予などの実施を。
- 2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロをめざす**ゼロカーボンシティ**の実現を目標としたが、**ゼロカーボンシティ宣言**も検討すべき。
- 病床確保や自宅療養者への食料供給体制の整備、オンライン診療体制の拡充など、**新型コロナ第6波に向けて一層の備え**を。
- 母子世帯に所得制限を設け、**住まいへの助成支援**を検討すべき。

社民党 賛成 一般会計、国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業特別会計 反対 東武東上線連続立体化事業特別会計

コロナ禍が生んだ格差を埋めるため 制度のすき間に落ち込む人を救い上げる支援を

- 若い区職員の採用を進め、仕事の技術を引き継げる環境づくりを。
- 自殺対策**を推進するため、心のケアに対応する正規職員の増員を。
- コロナ禍における区の対応**を改めて評価し、今後起きることが想定される大地震などの災害に備え、生かしていくべき。
- 大山町クロスポイント周辺地区の再開発事業費**は、前年比792.4%の伸びであり、区の財政を圧迫することを危惧している。コロナ禍だからこそ、区民の視点に立ち、税金の使い道に慎重になるべき。
- ひとり親世帯や子育て世帯への支援、中小事業者への区独自支援**などを実施したことについては評価する。
- 生活保護受給者が増加**する可能性がある。今後も丁寧な対応を。

民主クラブ 賛成 一般会計及び4特別会計

区民の生活を守り、中小企業を支えるため 前例にとらわれず、今こそ果敢な財政出動を

- 新型コロナ対策として、**8度の補正予算**を矢継ぎ早に編成し、多数の支援策を実行したことを評価する。さらなる積極財政を求める。
- 感染拡大「第6波」**に備え、いつでも検査が受けられる体制や安心して入院できる体制の整備、医療・介護従事者の待遇改善を求める。
- 児童・生徒や保護者、教員の意見を十分に踏まえて**学校教育のデジタル化**を進め、教員の負担軽減を図るとともに家庭の利便性の向上を。
- コロナ禍による**コミュニティの力の低下**が懸念される。成人式の実施や介護予防に取り組む自主グループの支援に向けた検討を。
- コロナ禍における災害対策**として、各避難所や福祉避難所の環境改善と、避難行動要支援者の個別避難計画の作成支援を求める。